

# さくらだより

vol. 38

2024年2月20日発行



## 伊藤 寿雄

プラント事業部1課 課長  
東海営業所 所長



### 人生を豊かに してくれる存在

伊藤にとって、仕事後の一杯は欠かせない楽しみだ。ビールや日本酒、最近では焼酎をロックで味わっている。なるべく週に2回は休肝日を設けようと思っているのだが、いまだ実現には至っていない。お酒のほかに大好きなのは、ゴルフ。仕事の話は一切抜きで、お客様と一緒にプレーをするのもとても楽しいという。普段は気づかなかつた、相手の意外な一面を知ることのできるからだ。好きな気持ちに比例してスコアが今ひとつ伸びないのが不思議でならないが、2024年も機会があれば積



### メンバーたちと 手を取り合い、 さらなる飛躍を

極的にコースへ出て存分にリフレッシュするつもりだ。パートナーの「かつすん」と娘の「あいちゃん」とのふれあいも、心からリラックスできる大切なひとときである。年に1週間ほどしか家に帰ることはできないが、2人に会えたときの楽しさは、言葉では言い表せない。これからも、愛する人との時間を大切にしていきたいと思っている。

伊藤は、縁の下の力持ちとしての活躍を誓う。自己のスキルをさらに向上させ、社長の目指す年商の達成に貢献していくのが今後の目標だ。

この業界で25年ほどのキャリアを積み上げてはいるものの、まだまだ知らないことはたくさんあると感じている。若い人にとっては、なおさらだろう。だが、心配はしていない。さくらのメンバーと出

(前編の続き)  
社長の高橋をはじめとするさくら株式会社メンバーたちとの出会いは、伊藤寿雄の人生に転機をもたらした。そして、管理職の立場で挑戦する日々は、苦労以上のやりがいを生み出している。これからの抱負や若手への思い、プライベートでの一面など、伊藤の素顔に迫った。

### 素敵なアイデアを 引き出す

人の意見や考え方は、十人十色。ときには仲間同士の意見に食い違いが生じて言い合いになるケースもある。だが、それがいけないものだ。伊藤は思わない。意見をぶつけ合えるのは、メンバー全員が仕事と真剣に向き合っている何よりの証拠なのだ。だから、若いメンバーが増え、ますます活気が出てきた会社にとって、若手・ベテランを問わず、お互いに

会った頃は溶接ができる人さえ、千葉専務と数人しかいなかった。多くの資格を持って活躍している先輩社員も、はじめは何もできなかったのだ。それでも毎日壁にぶつかりながら、なんとか乗り越えて今日に至っている。この仕事に、ゴールはない。挑戦と失敗を何度も繰り返しながら、はるかな高みを目指して、皆と一緒に歩き続けていくつもりだ。

### 将来を担う 若者たちへのエール

「とにかく夢を持って、それに向かって進んでいってほしい」。後輩たちに、伊藤が最も伝えたメッセージだ。その夢の途中では、くじけそうになったり、逃げ出したくなったりすることもあるだろう。そういったときは、弱音を吐いても構わない。さくらには支えてくれる素敵な仲間たちがたくさんいるのだから。どんどん弱音を吐いて、それでもあきらめずに続けていけば、夢

意見を言い合える間柄になることが、組織をより高いレベルに引き上げる原動力になると確信している。

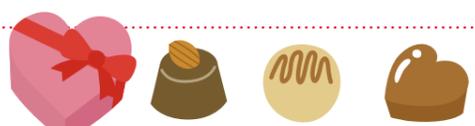
伊藤が若かった頃、上下関係は絶対的なもので、建設的な意見を出したくとも、無言の重圧が大きな壁となって立ちほだかつていた。だがあるとき、勇気を振りしぼってお客様に意見を述べたところ、相手から「ナイスだね、その意見。すごくいいよ」と言ってもらえたのだ。思い切って伝えてよかったと、心から感じたという。その体験があるから、今の若い人たちにも「意見や提案があれば、遠慮なく話してほしい」と自信を持って言える。新人ならではの考え方に接して「そういう見方もあったのか」と気づかされることも少なくない。建設的な意見の言い合える風通しのよい環境を、これからも精一杯整えていくつもりだ。

は叶うかもしれないし、もしかしたら夢よりも大切な何かが入るかもしれない。どちらに転んでも、そのとき仲間たちは一緒に喜び、ともに泣いてくれるはずだ。だから、どんどん夢に向かってぶつかってほしいと強く願う。チャレンジしない者に成功はない。これからも、皆の「アニー」として、一緒に成長していければと考えている。

伊藤は、さくらの仲間たちとともに未来へ向かって力強く走り続けていく。

### 企業情報

設立年：2012年4月  
年商：11.6億円  
※2022年3月決算時点



# 伊藤 寿雄 さんってこんな人！

2号連続のインタビューだけではまだまだ伝えきれない伊藤さんの魅力をお届けします。縁のあるお二方からの心あたたまるメッセージとともに、ぜひお楽しみください！



代表取締役  
たかはし かずよし  
**高橋 和義さん**

## 伊藤さんとの関係性

仕事だけでなく、お互いのプライベートまで深く知り合った仲で、なんでも話せる間柄。伊藤さんが私よりも9才上で、「アニー」と呼んでいます。まるで仲の良い兄弟のような関係でもあります。なお、兄貴分は私です(笑)

## 伊藤さんを一言で表すと

### 信用も信頼もしている人

人を裏切らないところ、若手の相談相手になっていて、皆に慕われているところから、信用・信頼できる人だと思っています。そのため、大きい現場も安心して任せられます。ちなみに、お客様との関係性も非常に良好。お客様が酔っ払って電話してくる相手もたいてい伊藤さん。「なにしてんの、伊藤さん！」と。これもお客様から信頼されている証拠です。全方位から愛されるキャラ、それが伊藤さんです。これからも若手の良き理解者であり続けて、仕事の幅も広げてくれたら嬉しく思います。

## 思い出エピソード

仕事のピンチはもちろん、プライベートでも大変なところを支えてきました。仕事では、「仕事が多すぎて終わらない！」というときに、伊藤さんの紹介で応援の業者を呼んでもらったことしばしば。出身地の大阪から「伊藤さんが困っているなら」と駆けつけてくれて……。顔の広さに助けられました。

## メッセージ

心から今よりも良い関係はないと思っています。変わらぬ付き合いでいきましょう！

## 伊藤さんとの関係性

私は現場に必要な資材を準備する役割、伊藤さんは現場のリーダーです。年齢も社歴も伊藤さんが上ですので、私は「ひさおさん」、伊藤さんは私のことを「しょうちゃん」と呼び合う仲です。

## 伊藤さんを一言で表すと

### 気配り上手な頼れるリーダー

ここまで穏やかな人はいないのであるかと思うくらい、分け隔てなく皆に優しく接している姿が印象的です。重量物を担いでいるときも緊張している顔は一切見せず、人が嫌がるような仕事も率先して対応し、どんなときも楽しそうに仕事しています。

## 思い出エピソード

正直第一印象は悪く、資材依頼のルールを守らず、めちゃくちゃだったのを覚えています。あとで話を聞いたら、赤字に陥りかけていた現場を立て直すために、そのような依頼をせざるをえなかったとのこと。このように伊藤さんは、誰も手に負えないような、赤字になりかけている現場を頻りに任せられます。それは黒字に転換できる手腕を買われているため。先日も、工事に入る前から赤字が心配されている現場がありましたが、結果的にはプラスにして終わらせました。

## メッセージ

今ごろは山口県の現場で、工期に追われながら頑張っていると思います。つらい時期かもしれませんが、持ち前のリーダーシップで乗り切ってください。こちらに戻ってきたら、いつものように美味しいお酒を飲みましょう。



資材部 部長  
はやししょう た  
**林 正太さん**

# 現場から学びを共有！

## 現場レポート



プラント1課  
おばた みつたか  
**小幡 光孝さん**

技術や知識、トラブルへの対処法、コミュニケーション……誰もが現場で日々様々なことを学んでいるはず。今回はプラント1課の小幡さんにお話を伺いました。現在進行中の現場において、多くの人と関わる過程で大切なことを学んだようです。

## 現場について

現在携わっているDOWAメタル現場です。この現場は「人の助け」を感じられる現場。現地の業者や元請け会社の方など色々な人が一緒に働いていますが、相談や話し合いの上、助け合いながら仕事が成り立っていると感じています。

## この現場からの学びをレポート！

【現場名】DOWAメタル  
【場所】静岡県磐田市松之木島。  
【工期】2023年10月1日～  
【人数】当社からは外注を含めて8名  
【施工内容】銅板を洗浄する機械に、油や水、エアの配管を採寸し制作、取り付け

## 自分の成長を感じたところ 現場は多くの人で 成り立つことを再認識

たくさんの人と関わり助け合うことで、自分だけではなく、周りの人のことも考えられるようになったことが一番の学びでしょうか。十人十色で、性格や考え方は人によって異なります。その人に合った仕事を割り振ったり、色々なことを考えながらチーム分けをしたりといった業務を日々行っています。仕事を割り振る際に心がけているのは、正確に伝えること。指示を間違えるとやり直しになってしまうため、一つひとつ丁寧に確認した上で、自分が聞いたことを相手にも正確に伝えるよう気をつけています。おかげで、言動にはかなり気をつけるようになりました。

## 学びを次の現場で活かすために 現場全体を考えた 取り組みを

たとえ私が責任者でなかったとしても、今後は現場全体のことを考えたうえで取り組むことができると思います。職長と一緒に考えたり、皆と話し合ったりといった協力ができるはず。また現場の雰囲気作りも大切です。笑える、和気あいあいとした現場を作るには、良い仕事をする。自分も含め、失敗をせず、笑って過ごしながら良い仕事を進めて、いち早く、きれいに、怪我なく終わらせることができればベストだと思います。